

Fw:東北 Fan Meeting 2023 東北暮らし発見塾

テーマ編：地域おこし協力隊

～地域おこし協力隊が生み出す未来への実践



久慈市



洋野町



利府町

2024 zoom 開催

1/22 (月)

19:00~21:00

参加者募集中

岩手県久慈市、洋野町、宮城県利府町への移住を検討している方や、地域おこし協力隊の制度を使っての移住を検討している方は、下記よりぜひお申し込み下さい。



東北への移住をテーマとした「東北暮らし発見塾」のテーマ別開催として「地域おこし協力隊」を取り上げ、移住コーディネートや有識者を交えてディスカッションを行います。

地域おこし協力隊の制度を使って移住先で新しいチャレンジに踏み出す人たちが、岩手県、宮城県の沿岸部でも多くいらっしゃいます。地域課題の解決に貢献する一方で、その活動を自らの生業として、移住者として地域に根付いていく人たちは、具体的にどのような挑戦や実践をしているのでしょうか。また、これから地域おこし協力隊として沿岸部で活動を始め人たちに寄せられる期待とは、どのようなものなのでしょうか。

岩手県久慈市、洋野町、そして宮城県利府町の3つの地域からゲストを迎え、各地で行われている地域おこし協力隊の活動や、隊員の人たちの挑戦、実践を知ること、沿岸部への移住の手段として地域おこし協力隊の道を選ぶことの魅力や可能性を、参加者のみなさんと考えていきます。

また、「社会や環境がよくなって、そしておもしろい」をテーマとした未来をつくるSDGsマガジン「ソトコト」との連動企画として、同誌の指出編集長を迎え、地域おこし協力隊での移住をリアルに掘り下げていきます。

プログラム（予定）

19:00-19:05 開会メッセージ／趣旨説明

19:05-20:15 インプットトーク

① 登壇者自己紹介

② 久慈市・洋野町・利府町の地域おこし協力隊の活動を知る

20:15-20:50 ブレイクアウトで参加者とのセッション

20:50-20:55 移住相談の窓口紹介・今後の移住支援活動紹介

20:55-21:00 閉会メッセージ／集合写真撮影

登壇者（順不同）

- ・藤織 ジュン 氏 （久慈市 移住コーディネーター）
- ・大原 圭太郎 氏 （一般社団法人fumoto 代表理事）
- ・近江 貴之 氏 （利府おもて梨園代表／梨農家兼梨王子）
- ・櫻井 貴徳 氏 （利府町経済産業部 商工観光課 シティセールス係）
- ・指出 一正 氏 （ソトコト編集長）

楽しめるポイント

Point 1>>

地元からのアツい 発信

移住者自らが地域の魅力を伝え、ユニークで熱意ある移住の先輩がリアルを語ります。

Point 2>>

全国好きな場所から 参加可能

Zoom開催なので自宅での参加もOK。みなさんの関心や疑問に登壇者がお答えします。

Point 3>>

地域と関わるキッカ けづくり

開催後の情報提供やFacebookグループでの交流など、地域とのつながりも作ります。

Fw:東北 Fan Meetingについて



「Fw:東北」（フォワードとうほく）は、共創の手法を取り入れた復興・創生の活動全体の愛称です。「Fw:東北 Fan Meeting」は、「新しい東北」の創造に関心のある方の交流、情報発信、東北のファンづくりを行っています。

今年度は挑戦となる取り組みをしている方を応援する「Cheer Up! Project」と、「東北暮らし発見塾」の2大テーマにて、オンライン（Zoomミーティング）の形式で開催します。

「東北暮らし発見塾」について

岩手県、宮城県の沿岸部の地域を取り上げ、各地の移住者や地域の人々をゲストに迎え、各地での暮らしや生業に関わり合うきっかけを、移住および関係人口に興味があるみなさまへ提供し、移住や関係人口で地域と関わる機運醸成および機会提供を行います。



▲岩手県大槌町でのメイン会場の様子



▲オンライン（Zoom）での登壇者の様子



オンラインイベントの詳細は
facebook.com/fwtohoku





岩手・宮城・福島発の 事業者の挑戦を応援！ Cheer Up! Project Vol.5

1月31日(水)
19:30~21:30

陸前高田発 ワイナリーで 世界基準のワインを目指す

～被災した若者がリターンで拓く地域の未来～



挑戦者

ドメーヌミカヅキ
及川 恭平



アドバイザー
鋤持 勝



秋保ワイナリー
毛利 親房



ナビゲーター
原 亮



zoom
開催

テーマ

ドメーヌミカヅキは、畑と醸造所をもち、ブドウ栽培から醸造・熟成・瓶詰めまでを自分で行う“ドメーヌ”と呼ばれるスタイルのワイナリーで、及川さんは畑でのブドウ栽培からチャレンジを続けています。

被災した経験から、自分の道を探し出し、世界水準のワインを目指す大きな挑戦に踏み出した及川さんと、及川さんが織りなすワインを軸とした産業づくりに必要な応援とは何か。地域の風土や文化にも密接に絡むことができる、地域発のワインの可能性を広げるべく、観光や食にも知見のある専門家も交え、全国のみなさんと考えていきたいと思います。

登壇者

挑戦者 及川 恭平 氏（ドメーヌミカヅキ 代表）

アドバイザー 鋤持 勝 氏（イーリゾート 代表）

アドバイザー 毛利 親房 氏（秋保ワイナリー 代表取締役/テロワージュ東北 代表）

申込み

以下リンク先、あるいは右のQRコードからお申し込みください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSco-sry9kLStMQNaTp3W_CD5CR_jKv0c9bp4nMlP6c7x9co7Q/viewform



こんな人に
オススメ

- ・東北発のワインの成長可能性について関心のある方
- ・地元ワイナリーを起点とした農業、食産業、観光などの発展に関心のある方
- ・被災経験から地元で新たな産業づくりを目指す起業家の応援に関心のある方



主催 復興庁 / 企画運営 エイチタス株式会社（受託事業者）

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

登壇者詳細プロフィール



挑戦者 及川恭平 氏

ドメヌミカツキ 代表

1993年生。陸前高田市出身。大船渡高校2年生のときに東日本大震災を経験。10年後に地元に戻り事業を起こすことを決意し、ワイン生産、ワイン流通、海外ワイナリーでの修行の後、2021年に岩手県陸前高田市でワイナリー起業。ソムリエとしても活動中。持続可能性と関係人口、温暖化対策をテーマに、世界に誇るワイン造りを目指しています。



アドバイザー 鋤持 勝 氏

イー・リゾート 代表

都立大学OU講師。観光業に従事してから40年。地域経営に従事して22年。現在ばんだい振興公社専務理事職のほか、日本各地の地域経済の再生とDMO組成を行う。2002年、ニセコ地域のインバウンド集客の基盤作りと人材育成を支援し、今日のニセコ地域の礎を築くことに貢献した。ワイン分野では米国ナパ・ソノマ地域300ワイナリーの内、90ワイナリーを訪問。また長野県観光アドバイザー時代に信州ワインバレー構想初期段階に参画。さらに福島県磐梯町で「醸造家育成成型酒蔵（日本酒醸造）」を道の駅に増設計画中。



アドバイザー 毛利 親房氏

秋保ワイナリー 仙台秋保醸造所 代表取締役/テロワージュ東北 代表

1968年アメリカ・シアトル生まれ。7歳で仙台に帰国。東京で学生時代を送り、2003年に仙台に戻り、設計事務所に勤務。2014年に起業のため退職。2015年秋保ワイナリー（仙台秋保醸造所）設立。

「ひと・地域・文化・産業をつなぎ、はぐくむワイナリーづくり」をテーマに、ワイナリーだけではなく地域全体に寄与することを目的とし、2016年ごろから「テロワージュ」の概念を提唱して、食と観光で東北の魅力を発信する活動に取り組んでいる。

Fw:東北Fan Meeting Cheer Up! Project

5人の挑戦者との交流で新しい未来を創るプロジェクト

岩手・宮城・福島の3県で、復興支援を含むあらゆる挑戦を応援する活動、「Fw:東北（フォワードとうほく）Fan Meeting（ファンミーティング）」では、今年度の新たなプロジェクトとして、3県で様々な問題解決に取り組む事業者を取り上げ、ご関心をお持ちいただいた皆様との交流の機会をつくることで、一緒に彼らの事業を後押しする「Cheer Up! Project（チア アップ プロジェクト）」を実施します。地元出身者や移住者など、様々な立場で東北の新しい未来を創る5人の挑戦者に、ぜひご関心をお寄せください。

なお、本プロジェクトのイベントは、後日Fw:東北 YouTubeチャンネルで公開します。



イベントの詳細はこちら ↑

YouTubeでアーカイブを配信予定！